

安全データシート

ニンジャシール A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2023/08/09 4125330

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ニンジャシール A液

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 建築・土木塗料(溶剤系)

使用上の制限 : カタログ及び仕様書に記載されている用途以外での使用は推奨しない。

会社情報

日本特殊塗料株式会社

所在地 東京都北区王子3丁目23番地2

担当部門 九州工場 技術課 電話番号 0942-89-5662

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1B
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (血液)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (血液系, 肝臓)
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 1

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 遺伝性疾患のおそれの疑い (H341)
発がんのおそれ (H350)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)
臓器の障害 (血液) (H370)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (血液系、肝臓) (H373)
水生生物に毒性 (H401)
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 (H410)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 使用前にカタログを入手すること。 (P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 (P202)
取扱後は手、前腕および顔をよく洗うこと。 (P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 (P270)
環境への放出を避けること。 (P273)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 (P280)

応急措置

: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。 (P308+P311)
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。 (P308+P313)
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。 (P314)
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。 (P321)
漏出物を回収すること。 (P391)

保管

: 施錠して保管すること。 (P405)

廃棄

: 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。 (P501)

安全データシート

ニンジャシール A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : ウレタン系樹脂塗料

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
3, 3-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン	15 - 20	(4)-95,(4)-96,(4)-275	既存化学物質	101-14-4
カーボンブラック	0.1 - 1	-	-	1333-86-4
2-エチルヘキサン酸	0.1 - 1	(2)-608	既存化学物質	149-57-5

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 : ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 : 水
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置 : 出勤は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

安全データシート

ニンジャシール A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。
- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
使用前にカタログを入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。
取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。
部屋の排気および全般的な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

接触回避

- 衛生対策 : データなし
- : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

名前	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
カーボンブラック	-	【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³	TWA 3 mg/m ³ (I),STEL -
3, 3-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン	0.005mg/m ³	0.005mg/m ³ (皮)	TWA 0.01 ppm(IFV),STEL - (Skin)
2-エチルヘキサン酸	-	-	TWA 5 mg/m ³ (IFV),STEL -

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

- 呼吸用保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 保護用手袋
- 眼/顔面の保護具 : 安全メガネ
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。
- 環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

安全データシート

ニンジャシール A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: ブラック
臭い	: 微臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 220 ° C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
50 ° C での蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 1 - 1.1 g/cm ³
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
爆発限界 (g/m ³)	: データなし
爆発下限界	: データなし
爆発上限界	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しない。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何ものなし（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

カーボンブラック (1333-86-4)	
LD50 経口	8000 mg/kg

3, 3-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン (101-14-4)	
LD50 経口	2500 mg/kg
LD50 経皮	2500 mg/kg

安全データシート

ニンジャシール A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

2-エチルヘキサン酸 (149-57-5)	
LD50 経口	2043 mg/kg
LD50 経皮	1140 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感受性	: 分類できない
皮膚感受性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	: 発がんのおそれ
生殖毒性	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 臓器の障害 (血液)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (血液系, 肝臓)
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性、水生生物に毒性。
水生環境有害性 短期 (急性)	: 水生生物に毒性
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

3, 3-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン (101-14-4)	
LC50 - 魚 [1]	0.61 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	0.25 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	0.0095 mg/l

2-エチルヘキサン酸 (149-57-5)	
EC50 - 甲殻類 [1]	85.4 mg/l

残留性・分解性

ニンジャシール A液	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

ニンジャシール A液	
生体蓄積性	データなし

安全データシート

ニンジャシール A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

土壤中の移動性

ニンジャシール A液

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性

: 分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)

: 3082

正式品名 (UN RTDG)

: 非該当

容器等級(UN RTDG)

: III

輸送危険物分類 (UN RTDG)

: 非該当

国内規制

海上規制情報

: 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

: 航空法の規定に従う。

緊急時応急措置指針番号

: 171

陸上規制情報

: 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に定められた運送方法に従う。

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法

: 特定化学物質第2類物質、特定第2類物質（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2、3号）

作業環境評価基準（法第65条の2第1項）

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）

2-エチルヘキサノ酸（政令番号: 69）（5%未満）

3, 3'-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン（政令番号: 242）（15~20%）

カーボンブラック（政令番号: 130）（5%未満）

特定化学物質特別管理物質（特定化学物質障害予防規則第38条3）

消防法

: 第4類引火性液体、第四石油類（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）

安全データシート

ニンジャシール A液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
3, 3'-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン(管理番号: 160)(16%)
【改正後 令和5年4月1日以降】
第1種指定化学物質、特定第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1、施行令第4条)
3, 3'-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン(管理番号: 160)(16%)

16. その他の情報

引用文献 : (社)日本塗料工業会 GHS対応 SDS・ラベル作成ガイドブック
(独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センターデータベース
原材料メーカーSDS

免責事項

当該シートに記載されている情報は、現時点で入手できる資料・情報のデータに基づいて作成しており、含有量、物理的及び化学的性質等の情報は保証値ではなく、全ての情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証を行うものではありません。また、含有量、物理的及び化学的性質等の値は当該製品の品質とは関係ありません。当該シートの危険有害性情報は、全ての情報を網羅しているわけではありません。ご使用者の責任において安全な取扱い方法をお決めください。当該シートは本製品の推奨用途に使用されることを想定しています。当該シートは製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を安全に行っていただくために作成されたものであり、損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いません。本製品がその他の製品の成分として使用される場合や、他の製品と組み合わせて使用する場合は、当該シートに記載されている情報は適用されません。当該シートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、国外に輸出する際には、事前に当社へご相談をお願いいたします。また、新しい知見に基づき改訂されることがあるため、継続してご使用いただいている場合は最新の情報をお取り寄せいただきご確認ください。

安全データシート

ニンジャシール B液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2023/08/09 4125422

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ニンジャシール B液

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 建築・土木塗料(溶剤系)

使用上の制限 : カタログ及び仕様書に記載されている用途以外での使用は推奨しない。

会社情報

日本特殊塗料株式会社

所在地 東京都北区王子3丁目23番地2

担当部門 九州工場 技術課 電話番号 0942-89-5662

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系)

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 皮膚及び眼刺激 (H315+H320)
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
吸入すると有害 (H332)
吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ (H334)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)
臓器の障害 (呼吸器系) (H370)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (呼吸器系) (H372)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 使用前にカタログを入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

安全データシート

ニンジャシール B液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

応急措置

- ：皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352)
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。(P333+P313)
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。(P342+P311)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
- 保管
- ：施錠して保管すること。(P405)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

：混合物

化学名又は一般名

：イソシアネート系樹脂塗料

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
フタル酸ジイソノニル	25 - 30	(3)-1307	既存化学物質	28553-12-0
1, 1' -メチレンビス [4-イソシアナトベンゼン]	20 - 25	(4)-118	既存化学物質	101-68-8

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

- ：ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

吸入した場合

- ：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ：皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

- ：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

- ：気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合

- ：吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。

症状/損傷 皮膚に付着した場合

- ：刺激性。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

症状/損傷 眼に入った場合

- ：目の軽い炎症。

安全データシート

ニンジャシール B液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 : 水
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置 : 漏出エリアを換気する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 使用前にカタログを入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
皮膚、眼との接触を避ける。

接触回避

衛生対策 : データなし
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全データシート

ニンジャシール B液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。

安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

名前	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
1, 1'-メチレンビス [4-イソシアナトベンゼン]	-	0.05mg/m ³	TWA 0.005 ppm, STEL -
フタル酸ジイソノニル	-	-	-

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 : 保護用手袋

眼/顔面の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 透明 黄色
臭い : 微臭
pH : データなし
融点 : データなし
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : 207 ° C
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : データなし
蒸気圧 : データなし
50 ° Cでの蒸気圧 : データなし
相対密度 : データなし
密度 : 1.05 - 1.15 g/cm³
相対ガス密度 : データなし
溶解度 : データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし
爆発限界 (vol %) : データなし
爆発限界 (g/m³) : データなし
爆発下限界 : データなし
爆発上限界 : データなし
動粘性率 : データなし
粒子特性 : データなし

安全データシート

ニンジャシール B液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しない。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もし（第7節参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 吸入すると有害

ニンジャシール B液	
ATE JP (粉じん、ミスト)	1.581 mg/l/4h

1, 1' -メチレンビス [4-イソシアナトベンゼン] (101-68-8)	
LD50 経口	31600 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん/ミスト)	0.369 mg/l/4h

フタル酸ジイソノニル (28553-12-0)	
LD50 経口	50000 mg/kg
LD50 経皮	3160 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 眼刺激
呼吸器感作性	: 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
皮膚感作性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 臓器の障害 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (呼吸器系)
誤えん有害性	: 分類できない

安全データシート

ニンジャシール B液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性) : 分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない

残留性・分解性

ニンジャシール B液	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

ニンジャシール B液	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

ニンジャシール B液	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当
正式品名 (UN RTDG) : 非該当
容器等級(UN RTDG) : 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号 : 171
陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に定められた運送方法に従う。

安全データシート

ニンジャシール B液

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） メチレンビス（4，1-フェニレン）＝ジイソシアネート（政令番号：599）（20～25%）
消防法	: 第4類引火性液体、第四石油類（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） メチレンビス（4，1-フェニレン）＝ジイソシアネート（管理番号：448）（23%） 【改正後 令和5年4月1日以降】 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） メチレンビス（4，1-フェニレン）＝ジイソシアネート（管理番号：448）（23%）

16. その他の情報

引用文献	: (社)日本塗料工業会 GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック (独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センターデータベース 原材料メーカーSDS
------	--

免責事項

当該シートに記載されている情報は、現時点で入手できる資料・情報のデータに基づいて作成しており、含有量、物理的及び化学的性質等の情報は保証値ではなく、全ての情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証を行うものではありません。また、含有量、物理的及び化学的性質等の値は当該製品の品質とは関係ありません。当該シートの危険有害性情報は、全ての情報を網羅しているわけではありません。ご使用者の責任において安全な取扱い方法をお決めください。当該シートは本製品の推奨用途に使用されることを想定しています。当該シートは製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を安全に行っていただくために作成されたものであり、損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いません。本製品がその他の製品の成分として使用される場合や、他の製品と組み合わせて使用する場合は、当該シートに記載されている情報は適用されません。当該シートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、国外に輸出する際には、事前に当社へご相談をお願いいたします。また、新しい知見に基づき改訂されることがあるため、継続してご使用いただいている場合は最新の情報をお取り寄せいただきご確認ください。

安全データシート

ニンジャシールプライマー

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2023/08/08 2118127

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ニンジャシールプライマー

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 建築・土木塗料(溶剤系)

使用上の制限 : カタログ及び仕様書に記載されている用途以外での使用は推奨しない。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	区分 2
健康有害性	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	区分 4
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
	呼吸器感作性	区分 1
	皮膚感作性	区分 1
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (中枢神経系, 呼吸器系, 肝臓, 腎臓)
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (麻酔作用)
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (神経系, 呼吸器系, 聴覚器)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (聴覚器)
	誤えん有害性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 引火性の高い液体及び蒸気 (H225)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)
皮膚刺激 (H315)
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
強い眼刺激 (H319)
吸入すると有害 (H332)
吸入するとアレルギー、ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ (H334)
呼吸器への刺激のおそれ (H335)
眠気又はめまいのおそれ (H336)
発がんのおそれの疑い (H351)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)
臓器の障害 (中枢神経系、呼吸器系、肝臓、腎臓) (H370)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (神経系、呼吸器系、聴覚器) (H372)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (聴覚器) (H373)
水生生物に毒性 (H401)
長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

安全データシート

ニンジャシールプライマー

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

注意書き (GHS JP)

安全対策

- : 使用前にカタログを入手すること。(P201)
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
- 容器を接地しアースをとること。(P240)
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
- 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
- 環境への放出を避けること。(P273)

応急措置

- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
- : 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
- 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302+P352)
- 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。(P303+P361+P353)
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311)
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)
- 特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)
- 無理に吐かせないこと。(P331)
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P333+P313)
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)
- 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。(P342+P311)
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

保管

廃棄

- : 施錠して保管すること。(P405)
- : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

化学名又は一般名

: イソシアネート系樹脂塗料

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
メチルエチルケトン	45 - 50	(2)-542	既存化学物質	78-93-3
キシレン	10 - 15	(3)-3,(3)-60	既存化学物質	1330-20-7
エチルベンゼン	10 - 15	(3)-28,(3)-60	既存化学物質	100-41-4
ポリ [(メチレン) (フェニレン)] =イソシアナート	5 - 10	(7)-872	既存化学物質	9016-87-9
酢酸エチル	5 - 10	(2)-726	既存化学物質	141-78-6
1, 1' -メチレンビス [4-イソシアナトベンゼン]	1 - 5	(4)-118	既存化学物質	101-68-8

安全データシート

ニンジャシールプライマー

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: 直ちに医師の診察を受ける。

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

: 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合

: 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

: 無理に吐かせてはいけない。
直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷

: 眠気又はめまいのおそれ。

症状/損傷 吸入した場合

: 呼吸器への刺激のおそれ。
吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

症状/損傷 皮膚に付着した場合

: 刺激性。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

症状/損傷 眼に入った場合

: 眼刺激。

症状/損傷 飲み込んだ場合

: 肺水腫のリスク。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療

: 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

: 乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

: 水を含む消火剤を使わない、水

火災危険性

: 引火性の高い液体及び蒸気

火災時の危険有害性分解生成物

: 有毒な煙を放出する可能性がある。

消火時の保護具

: 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置

: 裸火、火花禁止、禁煙。
出勤は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

緊急対応者

保護具

: 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

安全データシート

ニンジャシールプライマー

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

- : 環境への放出を避けること。
排水溝または水路への侵入を防ぐ。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

- : 大規模漏出の場合、溝に漏出を封じ込め、その後の安全な廃棄のため、湿った砂または土でふさぎます。
漏出物を回収すること。

浄化方法

- : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

その他の情報

- : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- : データなし
- : 作業エリアでは十分な換気を行い蒸気の発生を予防する。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
容器を接地すること/アースをとること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。
防爆型装置を使用する。
個人用保護具を着用する。
使用前にカタログを入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
皮膚、眼との接触を避ける。

接触回避

- : データなし

衛生対策

- : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件

- : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

- : データなし

技術的対策

- : 容器を接地すること/アースをとること。

混触禁止製品

- : 強塩基。強酸。酸化剤。

混触禁止物質

- : 水と接触させないこと。直射日光。発火源。

8. ばく露防止及び保護措置

名前	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
キシレン	50ppm	50ppm(217mg/m3)	TWA 20 ppm,STEL -
エチルベンゼン	20ppm	【暫定値】 20ppm(87mg/m3)(皮)	TWA 20 ppm,STEL -

安全データシート

ニンジャシールプライマー

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

名前	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
メチルエチルケトン	200ppm	200ppm(590mg/m ³)	TWA 200 ppm,STEL 300 ppm
酢酸エチル	200ppm	200ppm(720mg/m ³)	TWA 400 ppm,STEL -
1, 1'-メチレンビス [4-イソシアナトベンゼン]	-	0.05mg/m ³	TWA 0.005 ppm,STEL -
ポリ [(メチレン) (フェニレン)] =イソシアナート	-	-	-

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 : 保護用手袋

眼/顔面の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 透明 褐色
臭い	: 溶剤臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: -3.9 ° C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
50° Cでの蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 0.94 - 1.04 g/cm ³
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
爆発限界 (g/m ³)	: データなし
爆発下限界	: データなし
爆発上限界	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 引火性の高い液体及び蒸気。
化学的安定性	: 通常の使用条件下では安定。

安全データシート

ニンジャシールプライマー

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 吸入すると有害

ニンジャシールプライマー	
ATE JP (粉じん、ミスト)	3.708 mg/l/4h

キシレン (1330-20-7)	
LD50 経口	3500 mg/kg
LD50 経皮	1700 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (蒸気)	27.57 mg/l/4h

エチルベンゼン (100-41-4)	
LD50 経口	3500 mg/kg
LD50 経皮	15400 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん/ミスト)	27.5 mg/l/4h

メチルエチルケトン (78-93-3)	
LD50 経口	2737 mg/kg
LD50 経皮	6480 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (蒸気)	34.5 mg/l/4h

酢酸エチル (141-78-6)	
LD50 経口	5600 mg/kg
LD50 経皮	18000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (蒸気)	52.75 mg/l/4h

1, 1' -メチレンビス [4-イソシアナトベンゼン] (101-68-8)	
LD50 経口	31600 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん/ミスト)	0.369 mg/l/4h

ポリ [(メチレン) (フェニレン)] =イソシアナート (9016-87-9)	
LD50 経口	10000 mg/kg
LD50 経皮	9400 mg/kg

安全データシート

ニンジャシールプライマー

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ポリ [(メチレン) (フェニレン)] =イソシアナート (9016-87-9)

LC50 吸入 - ラット (粉じん/ミスト)	0.49 mg/l/4h
-------------------------	--------------

- | | |
|------------------|---|
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 皮膚刺激 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | : 強い眼刺激 |
| 呼吸器感受性 | : 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ |
| 皮膚感受性 | : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ |
| 生殖細胞変異原性 | : 分類できない |
| 発がん性 | : 発がんのおそれの疑い |
| 生殖毒性 | : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : 臓器の障害 (中枢神経系, 呼吸器系, 肝臓, 腎臓)
眠気又はめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (神経系, 呼吸器系, 聴覚器)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (聴覚器) |
| 誤えん有害性 | : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ |

12. 環境影響情報

生態毒性

- | | |
|-----------------|-------------------------------|
| 生態系 - 全般 | : 水生生物に毒性、長期継続的影響によって水生生物に有害。 |
| 水生環境有害性 短期 (急性) | : 水生生物に毒性 |
| 水生環境有害性 長期 (慢性) | : 長期継続的影響によって水生生物に有害 |

キシレン (1330-20-7)

LC50 - 魚 [1]	3.3 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	7.4 mg/l

エチルベンゼン (100-41-4)

LC50 - 魚 [1]	3.7 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	0.42 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	0.956 mg/l

メチルエチルケトン (78-93-3)

NOEC 藻類 慢性	93 mg/l
------------	---------

酢酸エチル (141-78-6)

LC50 - 魚 [1]	230 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	262 mg/l

安全データシート

ニンジャシールプライマー

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酢酸エチル (141-78-6)

NOEC 甲殻類 慢性 2.4 mg/l

残留性・分解性

ニンジャシールプライマー

残留性・分解性 データなし

生体蓄積性

ニンジャシールプライマー

生体蓄積性 データなし

土壌中の移動性

ニンジャシールプライマー

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
残余廃棄物 : 環境への放出を避けること。
追加情報 : 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 1263
正式品名 (UN RTDG) : 非該当
容器等級(UN RTDG) : II
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号 : 128
陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に定められた運送方法に従う。

安全データシート

ニンジャシールプライマー

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法

: 特定化学物質第2類物質、特別有機溶剤等（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2号、第3の2号、第3の3号）
第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）
作業環境評価基準（法第65条の2第1項）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）
危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）
健康障害防止指針公表物質（法第28条第3項・厚労省指針公示）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）
エチルベンゼン（政令番号：70）（10～15%）
キシレン（政令番号：136）（10～15%）
メチルエチルケトン（政令番号：570）（45～50%）
メチレンビス（4，1-フェニレン）＝ジイソシアネート（政令番号：599）（5%未満）
酢酸エチル（政令番号：177）（5～10%）
特定化学物質特別管理物質（特定化学物質障害予防規則第38条3）

消防法

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

: 第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）
エチルベンゼン（管理番号：53）（12%）
キシレン（管理番号：80）（13%）
メチレンビス（4，1-フェニレン）＝ジイソシアネート（管理番号：448）（3.7%）
【改正後 令和5年4月1日以降】
第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）
エチルベンゼン（管理番号：53）（12%）
キシレン（管理番号：80）（13%）
アルファー（イソシアナトベンジル）-オメガ（イソシアナトフェニル）ポリ〔（イソシアナトフェニレン）メチレン〕（管理番号：585）（8.3%）
メチレンビス（4，1-フェニレン）＝ジイソシアネート（管理番号：448）（3.7%）

16. その他の情報

引用文献

: (社) 日本塗料工業会 GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック
(独) 製品評価技術基盤機構化学物質管理センターデータベース
原材料メーカーSDS

免責事項

当該シートに記載されている情報は、現時点で入手できる資料・情報のデータに基づいて作成しており、含有量、物理的及び化学的性質等の情報は保証値ではなく、全ての情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証を行うものではありません。また、含有量、物理的及び化学的性質等の値は当該製品の品質とは関係ありません。当該シートの危険有害性情報は、全ての情報を網羅しているわけではありません。ご使用者の責任において安全な取扱い方法をお決めください。当該シートは本製品の推奨用途に使用されることを想定しています。当該シートは製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を安全に行っていただくために作成されたものであり、損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いません。本製品がその他の製品の成分として使用される場合や、他の製品と組み合わせて使用する場合は、当該シートに記載されている情報は適用されません。当該シートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、国外に輸出する際には、事前に当社へご相談をお願いいたします。また、新しい知見に基づき改訂されることがあるため、継続してご使用いただいている場合は最新の情報をお取り寄せいただきご確認ください。

作成日: 2019年06月19日

改訂日: 年 月 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ケミベスト®
会社名	三井化学ファイン株式会社
住所	東京都中央区日本橋室町4丁目3番18号 〒103-0022 東京建物室町ビル4階
担当部門	機能性ポリマー材料部
電話番号	03-5203-7849
FAX番号	03-5203-2231
緊急連絡電話番号	経営企画・コーポレート管理部 090-3505-4163
奨励用途及び使用上の制限	一般工業用途
整理番号	10367-M051

2. 危険有害性の要約

GHS分類

*本製品は、成形品のためGHS分類対象外。

GHS分類区分は付与されていないが取扱い時には以下の点に注意すること。

注意書き

[安全対策]

- ・使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・取り扱い後は、手、顔をよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

[応急措置]

- ・飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。
- ・特別処置が緊急に必要である場合は、応急処置指示(指針番号 171)を参照すること。

[廃棄]

- ・内容物/容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
- ・使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

他の危険有害性情報

- ・粉塵が発生すると、粉塵爆発の恐れがある。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

- ・情報なし

国/地域情報

- ・15.適用法令を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	ポリエチレン	ポリビニルアルコール
化学特性(化学式等)	(C ₂ H ₄) _x	(C ₂ H ₄ O) _x
CAS番号	9002-88-4	9002-89-5
濃度又は濃度範囲(含有量)	≥97%	≤3.0%

官報公示整理番号	化審法	(6)-1	(6)-682
	安衛法	既存	既存

4. 応急措置

吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所へ移動すること。 ・症状変化が現れた場合には、直ちに医師の診断/手当てを受けること。
皮膚(または髪)に付着した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぐこと。 ・付着した製品を拭き取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。 ・外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。
目に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに清浄な水で数分間洗浄する。 ・洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。 ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。 ・異物感が目に残るようであれば、速やかに眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> ・無理に吐かせないこと。 ・塊をのどに詰まらせた場合、取り除くのが好ましい。 ・意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 ・口を水ですすぐ。 ・保温して速やかに医師の手当てを受ける。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ばく露の懸念があり、異常な症状が出た時は、医師の診断/手当てを受けさせること。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候及び症状	<ul style="list-style-type: none"> ・情報なし
応急処置をする者の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた適切な保護具を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

引火点	> 200 °C ¹⁾
消火剤	棒状水、霧状水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 (CO ₂)
使ってはならない消火剤	なし
特定の消火方法	<ul style="list-style-type: none"> ・付近の発火源となるものを取り除く。 ・火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。 ・移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 ・消火活動は、風上から行う。 ・容器、周囲の設備などに散水して冷却する。
消火を行う者の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・消火作業の際は、呼吸用保護具(自給式呼吸器等)などの状況に応じた保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
保護具及び緊急時処置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の
方法・機材

- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。
- ・漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・風上から作業し、風下の人を避難させる。
- ・作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
- ・漏れた場所の周辺から人を退避させる。
- ・漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
- ・散乱した製品が河川等に流出し、環境への影響を起こさないように注意する。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・漏出したものをすくい取り、あるいは掃き集めて紙袋又はドラム缶等に回収する。
- ・少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
- ・溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後処理を行う。
- ・散乱したものを集めて紙袋等に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

安全取扱い注意事項

接触回避
衛生対策

保管

安全な保管条件

安全な容器包装材料

- ・「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。
- ・吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
- ・みだりに粉塵を発散させない。
- ・発散した粉塵を吸い込まないようにする。
- ・環境への放出を避ける。
- ・「10. 安全性及び反応性」を参照。
- ・取り扱い後は、手、顔などを良く洗い、うがいをする。
- ・この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。
- ・保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
- ・保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
- ・保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
- ・屋内貯蔵を原則とする。
- ・乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、包装材の封をしっかりと閉めて保管する。
- ・熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
- ・法令等により規定された基準に従って保管する。
- ・混触禁止物質：強酸化剤、強酸と強アルカリ
- ・ポリオレフィン製袋及び容器

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：未設定

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。 ・ 必要に応じて、局所排気装置や全体換気装置などを設置した場所での取り扱い。
保護具	
呼吸器の保護具	・ 必要に応じて、防塵マスク、防毒マスク等を使用する。
手の保護具	・ 保護手袋を着用する。
目の保護具	・ 保護眼鏡、安全ゴーグル、顔面シールド等を着用する。
皮膚及び身体の保護具	・ 適切な保護衣、安全靴、安全帽、前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質¹⁾

外観	
物理的状態	固体
形状	繊維
色	白色
臭い	無臭
pH	非該当
融点・凝固点	131 - 137 °C
沸点	データなし
引火点	>200 °C
自然発火温度(発火点)	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限/下限	データなし
燃焼性	加工、ハンドリングもしくはそのほかの処理の間に爆発性のダストエアミクスを構成する可能性があります。
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
密度	0.961 - 0.973 g/cm ³
かさ密度	データなし
溶解性	水：不溶 溶媒：データなし
オクターノール/水分係数	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	・ 通常の取扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	・ 粉塵および(粉末の場合)成形・加工時等に発生する低分子量物質は、静電気等により着火・爆発を引き起こす可能性がある。
避けるべき条件	・ 高温
混触危険物質	・ 強酸化剤、強酸と強アルカリ
危険有害な分解生成物	・ 有機酸

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
吸引力呼吸器有害性	データなし
その他の情報	特記情報なし

1 2. 環境影響情報

水性環境有害性(急性)	データなし
水性環境有害性(長期間)	データなし
土壌中への移動性	データなし
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の付属書に記載された規制物質を含まない。

1 3. 廃棄上の注意

- | | |
|---------|---|
| 残余廃棄物 | <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。 ・都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体はその処理を行なっている場合にはそこに委託して処理する。 ・廃棄物の処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 |
| 汚染容器・包装 | <ul style="list-style-type: none"> ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。 ・使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄する。 |

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連定義の危険物に該当しない。

海洋汚染物質 (Marine pollutant) : 非該当

ばら積み輸送される液体物質 (IBC コード) : 非該当

国内規制

航空輸送 : 特記する規制なし

海上輸送 : 特記する規制なし

港則法 : 特記する規制なし

陸上輸送 : 特記する規制なし

- | | |
|----------------|--|
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 ・直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 ・法規に規定された基準に従って輸送する。 ・火気注意 |
|----------------|--|

緊急時応急措置指針番号 171

1 5. 適用法令

- | | |
|-----------------|--|
| 労働安全衛生法 : | <ul style="list-style-type: none"> ・特化則 : 非該当 ・有機則 : 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 : | <ul style="list-style-type: none"> ・非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法 : | <ul style="list-style-type: none"> ・非該当 |
| 消防法 : | <ul style="list-style-type: none"> ・指定可燃物 合成樹脂類 その他のもの (3,000 kg) |
| 外国為替及び外国貿易法 : | <ul style="list-style-type: none"> ・輸出貿易管理令別表第1の16の項 |

1 6. その他の情報

引用文献

- 1) 自社データ

記載内容の問い合わせ先	会社名	三井化学ファイン株式会社
	住所	東京都中央区日本橋室町4丁目3番18号 〒103-0022 東京建物室町ビル4階
	担当部門	レスポンシブル・ケア部
	電話番号	03-5203-7283
	FAX番号	03-5203-2231

記載内容の取扱い

本安全データシートは、当社の持つ知見をもとに JIS Z 7252(2014)に準拠して GHS 分類を行い、JIS Z 7253(2012)に従って、十分注意を払って作成しております。

しかしながら、この記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性・引用文献の内容・全ての生態影響の網羅を保証するものではありません。
新たな情報の入手、新しい知見の発表や従来の説の訂正により、本安全データシートは追加又は訂正されることがあります。

また、本安全データシートは含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

使用におかれましては、適用法令をご確認の上、法令に従うと共に、この安全データシートを参考に、貴社の使用条件に即した取扱い上の注意を検討確立し、安全に使用していただきますようお願い申し上げます。

以上

作成日 1995年 4月18日

改訂日 2019年11月 1日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）

製品コード

会社名

住所

担当部門

電話番号

FAX番号

推奨用途及び使用上の制限

整理番号

- ・ ポルトランドセメント
普通ポルトランドセメント、早強ポルトランドセメント
中庸熱ポルトランドセメント
- ・ 10110011、10110031、
10110051
- ・ 株式会社 トクヤマ
- ・ 東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原
- ・ セメント企画グループ
- ・ 03-5207-2520
03-5207-2575
- ・ コンクリート、モルタル、セメントペースト等の原料として用いられる。
- ・ CE-01

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

[安全対策]

- ・ 皮膚腐食性及び刺激性 区分1
- ・ 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1
- ・ 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（気道刺激性）
- ・ 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1（呼吸器）



- ・ 危険
- ・ 重篤な皮膚の薬傷及び重篤な眼の損傷
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器）
- ・ 取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
- ・ 保護手袋、保護衣、保護長靴、保護眼鏡、保護面、防じんマスクを着用すること。
- ・ 粉じんを吸入しないこと。
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

[応急措置]

吸入した場合

皮膚（又は髪）に付着した場合

汚染された衣類を再使用する場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

ばく露又はばく露の懸念があり、気分が悪い場合

[保管]

[廃棄]

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- ・ 直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。
- ・ 洗濯をすること。
- ・ 水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・ 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
- ・ 医師の診断及び手当てを受けること。
- ・ 部外者が触れないような措置をし、保管すること。
- ・ 内容物及び容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

CAS 番号

化学特性（化学式等）

- ・ 混合物
- ・ ポルトランドセメント（アスベストを含まず、結晶性シリカ<1%）
- ・ 65997-15-1

化学名	主成分名	物質名称	化審法番号	CAS 番号
ポルトランドセメント	クリンカー	ケイ酸カルシウム	1-194	12168-85-3
		アルミン酸カルシウム	9-2408	12042-78-3
		鉄アルミン酸カルシウム	—	—
	せっこう	硫酸カルシウム	1-193	7778-18-9
			—	10034-76-1 10101-41-4

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

ばく露又はばく露の懸念がある場合

- ・ 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、直ちに医師に連絡すること。
- ・ 速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。
- ・ 速やかに清浄な水で 15～20 分間注意深く洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
- ・ 無理に吐かせないで、水でよく口の中を洗浄したのち、直ちに医師に連絡すること。
- ・ 気分が悪いときは医師の診断及び手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

- ・ 本製品は不燃物質である。
- ・ 周辺の火災時は全ての消火薬剤の使用可。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・ 重篤な皮膚の薬傷及び重篤な眼の損傷
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ
- ・ 回収作業には、保護手袋、保護衣、保護長靴、保護眼鏡、保護面、防じんマスクを着用する。

環境に対する注意事項

- ・ 粉じんが飛散しないようにする。
- ・ 環境中及び下水に流出しないようにする。
- ・ 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・ 掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。やむをえず床面等に残ったものは、水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。
- ・ 回収物や回収した洗浄水は、13. 廃棄上の注意に従い廃棄又は排水する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

[技術的対策]

取扱者のばく露防止

- ・ 眼、皮膚等への接触を避けるために、適切な保護具（保護手袋、保護衣、保護長靴、保護眼鏡、保護面、防じんマスク）を着用する。
- ・ 屋内で取り扱う場合は、換気に注意する。
- ・ 取り扱う際は、飲食又は喫煙をしない。
- ・ みだりに粉じんが発生しないように取り扱う。
- ・ 取扱い後は、顔、手、口等を水洗いする。
- ・ アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。

局所排気・全体排気
安全取扱注意事項

接触回避
保管

[安全な保管条件]

混触禁止物質
適切な保管条件及び
避けるべき保管条件
安全な容器材料

- ・ 酸性の製品、水と接触のおそれがない場所に貯蔵する。
- ・ 部外者が触れない措置を講ずる。
- ・ 乾燥した場所に保管する。
- ・ 防湿性の容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・ 屋内で取り扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。
- ・ 多量に取り扱う場合は集じん機を設置する。

管理濃度

- ・ 労働安全衛生法・作業環境評価基準：1.36 mg/m³

※ $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$ により算出。

この式において、E は管理濃度（単位 mg/m³）、Q は当該粉じんの遊離けい酸（結晶性シリカ）含有率（単位%）を表す。Q は、GHS 分類の定義上での最大値、Q ≒ 1%を算出に用いた。

許容濃度

日本産業衛生学会（2017 年度）

第2種粉じん 吸入性粉じん : 1 mg/m³ (TWA)
総粉じん : 4 mg/m³ (TWA)

ACGIH（2018 年度）

: 1 mg/m³ (TWA)

保護具

[呼吸器用保護具]
 [手の保護具]
 [眼の保護具]
 [皮膚及び身体の保護]

- ・ 防じんマスク
- ・ 保護手袋
- ・ 保護眼鏡
- ・ 保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質**外観**

[物理的状态、形状、色]

臭い**pH****融点・凝固点****沸点、初留点及び沸騰範囲****引火点****燃焼性****爆発範囲****密度****溶解度****自然発火温度****分解温度**

- ・ 固体、粉末、灰白色
- ・ 無臭
- ・ 水と接触すると 12～13
- ・ 約 1350°C
- ・ データなし
- ・ 不燃性
- ・ 不燃性
- ・ 爆発性なし
- ・ 3.00～3.30 g/cm³ (20°C)
- ・ 水と反応
- ・ 不燃性
- ・ データなし

10. 安定性及び反応性**反応性****化学的安定性****危険有害反応可能性****避けるべき条件****混触危険物質****危険有害な分解生成物**

- ・ 通常の条件では危険な反応は起こらない。
- ・ 水と反応して安定固化する。
- ・ 該当しない。
- ・ 水及び湿気を避ける。
- ・ 酸性の製品。水と接触すると強アルカリ性 (pH12～13) を呈する。
- ・ 該当しない。

11. 有害性情報**急性毒性 (経口)****急性毒性 (経皮)****急性毒性 (吸入：粉じん)****皮膚腐食性及び刺激性****眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性****呼吸器感作性又は****皮膚感作性****生殖細胞変異原性****発がん性**

- ・ データ不足のため分類できない。
- ・ データ不足のため分類できない。
- ・ データ不足のため分類できない。
- ・ 区分 1
水と接触すると強アルカリ性 (pH12～13) を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。以上より区分 1 とした。
- ・ データ不足のため分類できない。
- ・ 極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。
- ・ データ不足のため分類できない。
- ・ データ不足のため分類できない。
本物質の粉じんを吸入したコンクリートやセメントを扱う職人、セメント工場作業員等を対象とした疫学研究結果では、肺がん、又は他臓器のがん (膀胱がん、胃がん、結直腸がん等) による死亡率の増加、又は標準化罹患比 (SIR) の増加がみられたとする報告が複数ある一方で、肺がんも他臓器のがんも併せて発がんの増加は認

められないとの報告もあり、概して発がん頻度とばく露濃度との相関性解析結果が欠落している（ACGIH（7th, 2010））。呼吸器系がんに対しても、全ての研究報告が喫煙による影響を十分に排除して評価されているわけでもないことから、ACGIH は本物質ばく露による発がん性影響は一貫性に欠け、A3 に分類するには証拠が不十分であるとして、本物質（アスベストを含まず、結晶性シリカが 1%未満のポルトランドセメント）を A4 に分類した（ACGIH（7th, 2010））。この他、他の国際機関等による発がん性評価は行われておらず、以上を踏まえ、本項はデータ不足のため「分類できない」とした。

生殖毒性
特定標的臓器毒性
（単回ばく露）

- ・ データ不足のため分類できない。
- ・ 区分 3（気道刺激性）
- ・ 本物質は気道刺激性があるとの報告がある（ACGIH（7th, 2010））が、その他の情報はない。以上より、区分 3（気道刺激性）とした。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

- ・ 区分 1（呼吸器）
吸入経路では、ヒトにおいて良性のじん肺症を生じ、気管支炎、呼吸困難、咳、痰、肺気腫、胸痛がみられるとの報告がある（ACGIH（7th, 2010）、DFGOT vol. 11（1998））。実験動物についての有用な情報はない。したがって、呼吸器が標的臓器と考えられ、ヒトにおいてみられていることから区分 1（呼吸器）とした。

吸引性呼吸器有害性

- ・ データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）
水生環境有害性（長期間）
オゾン層への有害性

- ・ データなし
- ・ データなし
- ・ 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

環境基準

- ・ 土と混合した改良土からは、土壤環境基準を超える六価クロムが溶出する場合がありますので、事前に試験を行い、溶出量を確認する。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ 固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。
- ・ 洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法等の関係諸法令に適合するように十分留意しなければならない。
- ・ 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

汚染容器及び包装

- ・ 容器は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い処分する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制
海上規制情報
航空規制情報

- ・ 該当しない。
- ・ 該当しない（マルポール条約附属書 V）。
- ・ 該当しない（非危険物）。

- | | |
|-------------------------|---|
| 国連番号 | ・ 該当しない。 |
| 国内規制 | ・ 該当しない。 |
| 海上規制情報 | ・ 該当しない（海洋汚染防止法）。 |
| 航空規制情報 | ・ 該当しない（非危険物）。 |
| 国連番号 | ・ 該当しない。 |
| 輸送又は輸送手段に関する特定の安全対策及び条件 | ・ 粉じんのたたない方法で輸送する。
・ 破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れなどの防止を確実に
行う。
・ 湿気、水濡れに注意する。 |

15. 適用法令

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| ・ 労働安全衛生法 | : 粉じん障害防止規則 |
| ・ 労働安全衛生法第 57 条 | : 表示対象物 ポルトランドセメント |
| ・ 労働安全衛生法第 57 条の 2 | : 通知対象物 ポルトランドセメント |
| ・ 労働安全衛生法第 57 条の 3 | : リスクアセスメントを実施すべき危険有害物
ポルトランドセメント |
| ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | |
| ・ じん肺法 | |
| ・ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法） | : 該当しない。 |
| ・ 化学物質排出把握管理促進法 | : 第一種、第二種指定化学物質に該当しない。 |
| ・ 毒物及び劇物取締法 | : 該当しない。 |

16. その他の情報

本データシートは、日本工業規格 JIS Z 7253:2012「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。

[参考文献]

- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構：政府による GHS 分類結果 名称：ポルトランドセメント（アスベストを含まず、結晶性シリカ< 1%）

記載内容の問い合わせ先

株式会社 トクヤマ セメント品質保証グループ
 電話番号 : 0834-34-2504
 FAX番号 : 0834-33-3545
 住 所 : 山口県周南市御影町1-1 (〒745-8648)